

Die Kunst Nicolas Poussins in einer historischen Perspektive

歴史のなかの ニコラ・プッサンの 芸術



《人生の踊り》(c.1634-c.1636)

ヘンリ・キーゾル [ハイデルベルク大学教授]

Henry Keazor

Professur für Neuere und Neueste Kunstgeschichte
Institut für Europäische Kunstgeschichte, Universität Heidelberg



University Heidelberg, KUM

ヘンリ・キーゾル教授 ● Prof. Dr. Henry Keazor

1965年生まれ。ハイデルベルク大学ヨーロッパ美術史研究所教授。フランス、イタリアのバロック絵画についてのドイツにおける代表的研究者。主な著作に『プッサンのパレルゴン』(1996)、『「真なる手法」カラッチー族の絵画改革』(2007)、『ニコラ・プッサン1594-1665』(2007)、『本物と見紛うほどだ! 贋作の歴史』(2015)など。その他にミュージックビデオやジャン・ヌーヴェルについての論考も執筆。フィレンツェ・ドイツ美術史研究所研究員、同助教授、ヨハン・ヴォルフガング・ゲーテ大学助教授、ザールブリュッケン大学教授を経て、2012年より現職。

十七世紀フランスの画家ニコラ・プッサンは、今でこそ美術史上の「巨匠」の座を確立していますが、一九六〇年のルーヴル美術館における大回顧展に至るまでは「時代遅れ」として敬して遠ざけられ、忘れ去られていました。本講演では、フランシス・ベーコンやピカソらの芸術家や歴代のプッサン研究者による二十世紀におけるプッサンの再発見の歴史を振り返り、プッサン芸術の特質を多面的に明らかにします。

学術講演会

日時 2016年9月3日(土) 14:00~15:30 (ドイツ語による講演。同時通訳つき)

会場 国立西洋美術館講堂(地下2階)

●JR上野駅下車(公園口)徒歩1分 ●京成電鉄京成上野駅下車 徒歩7分 ●東京メトロ銀座線、日比谷線上野駅下車 徒歩8分

聴講無料

定員: 先着140名

参加方法: 当日13:00より、館内インフォメーションにてお一人につき一枚聴講券を配布します。会場へは、開演の30分前からご入場いただけます(自由席)。

主催 ● 国立西洋美術館 後援 ● 日仏美術学会

協力 ● 西洋美術振興財団

科研費基盤研究(C)「プッサン晩年の風景画における語りと寓意に関する総合的研究」

お問い合わせ ● ハローダイヤル 03-5777-8600 美術館HP <http://www.nmwa.go.jp/>